



森林ボラ通信

第7号 2002年12月20日発行
北海道森林ボランティア協会
札幌市中央区北1東1(株)CWE内
TEL 011-241-8155, FAX 011-241-8308

澄川 入林最終日、林内不法投棄ゴミ掃除、豊平清掃事務所の協力をいただく

11月25日、澄川森林の最終作業日にあたり、道路際のゴミ掃除を行いましたところ、予想を上回る不法投棄のゴミがありました。全員で道路脇まで運び出しました。テレビ、電子レンジ等の家電、タイヤ、絨毯、などの大物がありましたが、最も多い物は飲料の各種空き缶とペットボトルでした。まとめてスーパーの買い物袋にいれられているケースが多いのは、走行中の車からのポイ捨てが日常茶飯事であることを示しています。大物は車を止めて投げ込まなければならないので、これもはっきりした意図的なものです。当日の人数で持ち運ぶには多すぎるので、豊平清掃事務所に協力をお願いしましたところ、快諾していただきました。来年は道路から幅5mぐらい草刈りをして、投棄物がはっきり見えるようにして、不法投棄の防止をはかってみましょう。

11月26日、初めて天候不良につき作業中止としました。

冬季活動 第一回 森林ボランティアセミナー報告

11月29日(金) 13時～かでる・27 940室 定員40人、出席36人

「森を守るということ、(森林レンジャーに関連して)」 講師：酒井和彦さん

「ボランティア活動を考える」 講師：三浦裕さん

つい先日の澄川でのゴミ出しの酒井さんの映像は迫力がありました。短期間に画像処理をして、OHPで投影する講演資料を作った努力には敬服します。

三浦さんご指摘の救急救命安全対策は早速実行することにしましょう。

有明第二 立ち枯れ樹 伐倒完了

12月5日、参加13名で有明第二のトドマツ人工林の立ち枯れ樹整理伐作業を行いました。40本程度が残っていました。最終結果として581本、1本残さず伐倒しました。入林7回、延べ90人の作業の結果です。玉切り前の状態はトドマツ達の死屍累々たる惨状でした。それを玉切りし、床に接するように置き直してやりますと、林床は隙間なく丸太を敷き詰めたように見えます。まさに遺体を手厚く葬る様相になりました。作業は素直に倒れてくれない掛り木するものが多く、ロープをかけて数人がかりで引っ張り倒したり、幹の下端を切り落としたりで危険な作業でしたが。2人や3人ではできない人数の威力を痛感しました。無事故で終了できたことを感謝しましょう。

次年度は、生立木788本の約30%を間伐する計画になると思われます。本数は約240本見当です。

インドネシア研修 加治さん参加

㈱国際緑化推進センターによる「緑の国際ボランティア研修」に加治豊実さんが参加します。1月29日～2月7日にかけて東ヌサトゥンガラ州スンバ島、中部ジャワ州マゲラン地区です。みやげ話を期待しましょう。

研修会 & 忘年会の報告

12月11日 参加者17名、「高齢人工林の複層林化施業」の講義と「この実、なんの実」の木の実を見て樹種名を判断するテストを受けました。全問正解者なし、特にはトドマツとエゾマツの実（マツカサ）の判別が困難でした。笹の葉茶の作り方を習い、試飲もして意外な香りと味を体験しました。17時には鹿の湯花もみじ館にチェックインし、一風呂あびての忘年会。ゆかた姿で山姿とは違った面を見せあひましての親睦を深めあった一夕でした。

独立行政法人 北海道森林総合研究所の森林施業支援

12月16日、両代表幹事と事務局長の3人で訪問。両代表幹事ともに先方の窓口の実験林室長と旧知の間柄であったこともあり、忌憚のない話し合いができ、ニーズが合致しまして実行する方向で具体的な計画に入ることになりました。早速、まず最初にとりかかる林班に案内され視察となりました。28年生のアカエゾマツ、エゾマツ、トドマツの10,000本/畝の密植針葉樹人工林です。植栽後全く手入れせずに30年放置した姿を見ることが出来ます。隣接して30,000本/畝の超過密林分もありました。間伐作業ですが、胸直10m前後の細いものなので、有明で腕を磨いたわが会員諸兄弟にとっては手鋸だけで十分に対処できると見えました。ただし、ほとんどが伐倒時にかかり木になりますので、引っ張り倒す作業がついてまわりそうです。その他、種の採集や試験樹の根から幹、枝、葉、すなわち全体重を計測する人手のかかる仕事の支援等、特殊な仕事もあるようです。

1月の森林レンジャー勉強会

日時： 1月15日（水） 13時00～
場所： 札幌市ボランティア研修センター 第一研修室
中央区北1条西9丁目リンケージプラザ2F TEL223-6005
定員： 60人
講師： 加治豊実さん「森林施業と関連用語」
湊 克之さん「森林作業と労働災害」

2月の森林レンジャー勉強会

日時： 2月24日（月） 13時30～16時30
場所： かでる2・7 210会議室
中央区北2条西7丁目 TEL231-4111 内36-111
講師： 札幌市消防局
「救命・養成講習の内 普通救命講習（3時間）」

事務局メールアドレスのお知らせ

事務局のパソコンにメールアドレスを設けました。お気軽に要望、提案、報告等々お寄せ下さい。アドレスは以下のとおりです。

shinrin-b@pc.aaapc.co.jp

幸福の黄色いヘルメット

柴田 久子

私が山造りに興味を持ったきっかけは、工事用の土砂を採るために、ふるさとの山が削られたことです。荒れ放題で生活と懸け離れた存在になっただけでも、山は動かぬもの、ずっとそこにあり続けるもののような気がしていました。削られた白い山肌を見た瞬間、自分の胸をえぐられるような痛みを感じました。そして、忘れかけていた山での記憶が、次々に思い出されました。今はもう行なわれなくなった山の神のお祭り、削られた山は、その祠の目の前の山でした。「このままでは山が消えてしまう。自分で何かできないだろうか。今しなくていつするの？」そんな気持ちが自然に起こりました。森林ボランティアの記事に目が止まったのは、それから間もなくのことです。

初めての山作業の日、右も左もわからない私は、相当に緊張していました。「どんな人達だろう…」「鉋も鋸もほとんど握ったことがないのに、ついて行けるのかな…。集合場所に着いてみると、黄色のヘルメットの集団が、皆一様に、にこにこ笑っています。「なんだかとても嬉しそう…」並んだ笑顔に肩の力がストンと抜けたのを覚えています。

記念すべき初仕事は野帳づけ。「野帳はそんなに動かなくていい」と再三言われながらも、とにかく最初は必死です。下草生い茂る馴れない斜面で、遅れをとってはいけないと皆を追いかけ、聞き違いがあつてはいけないと思いきり声を出しました。余裕なく臨んだ初仕事でしたが、不思議なことに疲れを全く感じません。むしろ、むくむくと元気が湧いてきます。体全体で仕事をした充足感と、皆で力を合わせることの楽しさでいっぱいです。気がつくやうに、朝迎えられた笑顔と同じように、私の頬も緩んでいました。

これまでの僅か数回の参加で、毎木調査・測量・間伐・除伐・椎茸菌の植え付けと、様々な作業を経験しました。時には雨に打たれ、時には藪を漕ぎ、やぶ蚊の猛襲に、立ったままのお昼ご飯と、かなりサバイバルで、刺激的な体験もありましたが、そんなときの疲労感にも心地よさを感じ、最初に抱いた労働の後のすがすがしい気持ちは、回を重ねても薄れることはありません。それと同時に、自分が如何に何も見ていなかったかも思い知りました。自然の中で育った気でいましたが、木々の名前すら、ほとんどわかりません。自分で鋸を引いて一本の木を倒してみても、たとえ枯木であっても、そのズシリとした重量感を感じることができました。木々の一本一本にも、それぞれ違った生い立ちがあり、違った個性がある。今更ながら気づいたことです。

木と対話できるようになりたい。その木を見れば、木の経歴が瞬時にわかり、今の木の気持ちがわかる、そんなふうになりたいと思います。美しい切り株をつくりたいとも思っています。初めての間伐の日、みっともない切り株をいくつか森に残してしまいました。私の山への思いは、全く個人的な動機によるものであつて、自分の力で何ができるのか、先は見えていません。しかし、今は動かないではいられません。縁あつて足を踏み入れた森林から、また出会った人々から、できるだけのことを吸収したいと考えています。

山の神のお祭りは、子どもたちが山から小枝を拾い集め、その火で餅を焼いていただくだけのささやかなものでした。そんなことからでも、山に感謝する心は刻み込まれるのだと信じています。これからの活動の中でも、折々の山の恵みを少しずついただいて、その恵みを大切に生活に取り込んできた先人の知恵を学ぶことができたかと願っています。

森林ボランティアの後藤です

後藤祐司

会の立ち上げ、運営の手際よさに感心しています。組織運営のノウハウがあるからと思いますが、情報の連絡も良く、事務局の熱心さが会員の参加率の良さに現われています。

都合4回ほど森の活動に参加しました。仕事でいやになるほど木を切ってきたベテランの方々も、私みたいに生木を切った経験のないものまで、皆楽しく生き生き活動しているように感じました。

<ボランティアは楽しくやるべし>

私は、自分の森を確保したごとく、心おきなく森に入り、森の恵みを少し分けていただくのを楽しみにしています。除伐して澄川の森がすっきりしてきたのを実感しています。このように、木を切り森がよみがえるのを見るのがとても新鮮です。又、倒れかかられた木を切ろうとして、知らずに、危険なことをしているのを注意してもらったり、一から勉強です。やっと、ミズナラの木肌が判断できるようになりました。色々教えて下さい。

11月15日に持ち帰ったブドウの蔓で、ツルかごを作りましたので紹介します。太いブドウの蔓でかごを作るのは初めてでした。皮むき 2.5 時間—女房担当。大変だったとのこと。でも剥いたら表面がとても綺麗になりました。かご編み 1.5 時間—ふたりで汗かいて作りました。蔓は切ったばかりなので柔らかく思ったより扱いやすく、上部の太いのも何とか形にしました。写真のかごのそばにあるのは、白樺で作った人形です。

